



司牧者がリレー形式で若者たちに読んでほしい書籍を紹介し、青年たちの読書感想文を掲載する連載。今回は矢野吉久神父様（箕面教会）が担当。

矢野吉久神父から この一冊



『小倉昌男 祈りと経営―ヤマト宅急便の父が闘っていたもの』（森健著、小学館文庫、2019年、税込759円）

カラスの鳴かない日はあっても、クロネコのトラックを見ない日はない。クロネコヤマトの宅急便の創業者、小倉昌男さん。その生涯を支えていたものはなんであったのか。今、物品の輸送は今日出せば、明日か二日後には届く。しかし私は覚えてい

いので受け付けられないと言われ、仕方なく鉄道便（国鉄、今のJR）で送ったら、届くのに一週間かかった。今は昔。

70年代前半あたりまで、流通路線にはいろいろなからくりがあり、スムーズに輸送が出来なかつたらしい。そこにメスを入れ、からくりと闘って、流通改革に大きな役割を果たしたのが小倉さん。その闘いの原動力は？

小倉さんは若い頃、救世軍に入信し、クリスチャンであった。結婚後、妻がカトリックであったので自分も、とカトリックに。忙しい中、妻と一緒に毎日早朝のミサに参拝していた。事業家・経営者としては、クロネコヤマトは成功し、大企業に。

しかし、神様は家庭人としての小倉さんに重い手を置かれた。妻の重い病と思

いもよらない突然の死、長女の心の病氣とそれに伴う彼女との摩擦、そして抵抗。小倉さんは経営者として巧成り名を遂げたと思われた時、経営から身を引き、福祉財団を立ち上げ、障がいのある方々のために、と福祉の世界で働く人に。長女が本書で言っている。「父の考え方の根本はかなりキリスト教に基づいていたように思います。自分でよく語っていたのは『イエズス・キリストがみんなを罪から救うために十字架にかかってくれたのだから』……父の視点というものは必ず弱いものに惹かれていました」と。（243ページ）

キリストへの信仰を生きる土台とし、弱い立場の人に寄り添いながら、お金を苦勞して稼ぎ、そして大切に使うことを小倉さんから学びたい。情緒と哀切を教えらるる本でもある。



今回は、中村克徳神父様（日生中央教会）です。

聖ヨセフとわたし

聖ヨセフ年（今年12月8日まで）を記念し、靈名がヨセフの司牧者に聖ヨセフにちなんだものの紹介や個人的な気づきをシェアしていただく。



静かな聖ヨセフ

私は、“マシュー（マタイ）”という名で受洗するはずでした。聖マタイの祝日に、この世に生を受けたからです。



ヨゼフ・ダビデ・プロデリック神父（聖コロンバン会）

母に、なぜ自分は“ダビデ”と“ヨセフ”なのか、尋ねたことがありました。母は「あなたが生まれる前、私はあなたに大きな夢を持っていた。もし男の子なら、マタイのように貧しい人びとを苦しめる徴税人（ちようぜいにん）のようになってほしくなかった。聖書の中の偉大なダビデ王のようになってほしいと思ったのと、私のパパで、あなたのおじいさんの名前が“デイビッド（ダビデ）”でもあったから、そう名付けたのよ」と答えました。「“ダビデ”については分かったけど、なぜ“ヨセフ”なの？ うちの親類には、そういう名の人はいないでしょう？」と尋ねると、母はこう言いました。「聖ヨセフは、“王の王”の養父に選ばれたでしょう。私はあなたに、聖書の中のこの選ばれた二人のようになってほしいと思ったのよ。だから、“ダビデ・ヨゼフ”と名付けた。お父さんはあなたを“マタイ”にしたかったようだけど、私がどうしてもそれに同意しなかった」。

私は聖ヨセフが好きです。彼は、私の兄のように貧しい大工でした。私の父のように寡黙でした。そして、聖母マリアに従ったように、私のパパはママに従いました。その聖ヨセフは、神殿で見失った息子を探し回り三日後に発見した出来事の後、聖書からは消えています。つまり「見捨てられて」しまうのです。いつ亡くなったのか、どこに葬られたか、誰も本当のことを知りません。聖ヨセフは、私にこうささやいてくれます。「見捨てられても大丈夫。あなたがどこに葬られるか、誰も知らなくても結構。ただ、忠実にあなたの仕事をこなしなさい。高名な大工にならなくてもよい。自分に与えられた道具でできる最高の仕事をしなさい。謙遜（けんそん）を学びなさい。あなたの報酬（ほうしゆ）は地上にあるのではなく、天にあるからです」と。

聖ヨセフは、忘れられたすべての人、見捨てられたすべての人、墮胎（だたい）されたすべての子どもの守護聖人です。

聖ヨセフ、私のために祈りたまえ。私たちのために祈りたまえ。

お知らせ

Windows 11

ちよつと待った、そのバージョンアップ！

教区の皆さまへ、教区本部事務局よりWindows 11へのバージョンアップに関するお知らせをします。

この秋頃、Microsoft社

から、Windows 11（バージョン11）が登場する予定です。おそらく今年発売される冬モデルから、このバージョン搭載のパソコンになっていると思います。

Windows というのは、パソコンが動作するために必要な基本ソフトの一つです。同じWindows でも、バージョンが変わると操作方法が変わってしまいま

す。つまり、Windows 10と11では操作方法に違いがあるということになります

す。一般的に、機械類は新しい方が古い物より良いです。パソコンもより新しい物の方が良いです。では、パソコンの基本ソフトはどうでしょうか？

パソコンの基本ソフトの場合は、必ずしも新しいものが良いとは言えません。パソコンの基本ソフトは、そのソフトを動かすパソコンの性能や接続されているプリンターなどと密接に関係しています。不用意に新しいものにする、印刷が

できなくなるなど、不慮の不具合に見舞われる事があります。

またWindows 10パソコンを11にバージョンアップすると、パソコンメーカーからのサポートを受けられなくなる場合もあります。この場合、11にバージョンアップ後に発生した不具合は、パソコン使用者のほうで直さないといけなくなります。

Windows 11へのバージョンアップはMicrosoft社から無料で提供されますが、バージョンアップをする

- ①使い方が変わる
- ②パソコンが正しく機能しなくなる
- ③サポートが受けられなくなる

——これらの問題が発生する可能性がありますので、

パソコンのベテランでないかぎり、バージョンアップをすることをお薦めしません。

どうしてもWindows 11を使いたい場合は、バージョン11がインストール済のパソコンを購入するほうが安全です。

教区事務局で管理しているパソコン（司牧者貸出パソコン、会計用パソコン、職員用パソコン）では、11へのバージョンアップを禁止しています。教区管理パソコンをバージョン11に変えるのは、パソコン本体を買い替える時を予定しています。

皆様もWindows 11へのバージョンアップをする場合は、慎重に検討してから行ってください。

（IT担当 筑田）